

学習プログラム開発をしよう

(B) グループ メンバー (豊田 伊達 川内 須翠 黒木 鴨田
(主催者) (司会) (記録))

テーマ 高齢者教育

個人の要望

- ・生きがいづくり、健康、医療
- ・趣味のつくり、技術の向上→地域の活性化
- ・健康・スポーツ
- ・地域の方に講師に依頼したり→講師の育成
- ・仲間がほしい
- ・若、人との交流がしたい
- ・身につけたいことを学ばない
- ・スマホに詳しい人を交際
- ・交通手段の問題

社会の要請

- ・社会福祉協議会との連携
- ・老人連合会との連携
- ・地域包括センターとの連携
- ・介護保険料を払っている
- ・要介護者としていないように増やしたい
- ・主に情報はどうすればいいか
- ・学習機会を拡充
- ・情報通信技術を知り機会を増やしたい
- ・ネットワークづくり
- ・人的力を活かす
- ・地域
- ・健康的な暮らし
- ・生きがいづくり
- ・高齢者の能力を地域社会で活かす

地域課題

- ・介護予防のためにプログラムを開発
- ・送迎の足の確保、コミュニケーションを図る
- ・世代間交流の場を拡げる。(30代以上の若者の場)
- ・日頃より健康づくりを心がける。(カーブを学ぶ)
- ・協働のやりがい(情報の伝え方、伝えかた大切)
- ・健康づくり維持(健康づくり講座)、住民の要求が増えるので学習機会を増やしたい
- ・医療費を抑えるために健康講座
- ・高齢者むけのスマホの活用情報を得るための講座
- ・独居老人が地域へ出づため講座
- ◎医療・情報・つながり(ネットワーク)

◎つながりづくり ①健康づくり ②孤立化

◎スマホ講座を若、世代にあわせてもらう。お互いから交流が下り、情報を得るきっかけ、コミュニケーション目的

学習目的

住民同士の希薄化を解消するためにつながりを深める。

学習目標

- ・高齢者が世代を越えてコミュニケーション技術を身につける。(スマホ講座の基礎技術)
- ・高齢者が挑戦する(TRYする)意識を高める。
- ・新しいものに。

【学習プログラムを開発しよう！】

(B) グループ メンバー (豊田(支援者)、川内(司会)、須澤、黒木、伊達、鴨田)

1 学習目的

住民同士の希薄化を解消するため、つながりを深める。

2 学習目標

高齢者が世代を越えたコミュニケーション技術「スマホの基礎技術」を身につける
 高齢者が新しいものに挑戦する(TRYする)意識を高める。

3 プログラム名

スマホでネットワークづくり ～ 使える つながる 楽しめる～

4 対象・定員

対象

スマホを持つ65才～75才

◎ 定員 10人

5 参加費

(受益者負担を原則として、参加費を算定する。なお算出の根拠も明確にする。)

資料代、茶菓子代にて3回で500円

講師代は市が持つ。

6 事前に必要な知識や準備物

資料・パワーポイント・茶菓子・PC・プロジェクター

学習支援者募集のチラシ

7 留意点

- ・個人情報取り扱いには十分気をつける。
- ・休憩をとりながら学習する。
- ・犯罪やトラブルに巻き込まれるように、危険性・リスクについてもしっかり学ぶ。

8 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標 (◎) 学習内容	学習支援者	学習場所
1回 7月23日 (火) 10:00~12:00	スマホの 入門編	◎高齢者が世代を越えたコミュニケーション 技術を身につける(スマホの基礎技術) ・アイスブレイク〜自己紹介〜 ・基礎講座「スマホで便利」 ・実技-電話とメール・登録の仕方 *参加者同士つながろう	中学生 高校生	公民館
2回 7月30日 10:00~12:00	スマホの 応用編	◎高齢者が新しいものに挑戦する 意識を高める。 ・復習と実技「カメラの使い方」	中学生 高校生	公民館
3回 8月5日 10:00~12:00	スマホでネット 作り 人とつながる 地域とつながる	◎コミュニケーションをあることで、 イキイキとした日常生活を送る。 ・講義 「地域福祉とつながる新しい見つけ方活動」 ・実技 インターネットの利用方法を学ぶ。 ・支援者と交えに交流会	中学生 高校生	公民館

9 評価方法

<ul style="list-style-type: none"> ・スマホでアンケートを取る ・スマホで情報発信
--

【各回の実施計画を立ててみよう！】

(B) グループ メンバー (豊田、川内、須澤、黒木、伊達、鴨田)
 (支援者) (司会) (記録)

1 学習テーマと学習目標

○学習テーマ

スマホの入門編

○学習目標

高齢者が世代を越えてコミュニケーション技術を身につける。(スマホの基礎技術)

2 回・日時・場所

○回・日時

第 / 回 7月23日(火) 10時00分～12時00分

○場所

公民館

3 講師、指導者、支援者

専門講師、中学生、高校生

4 準備物

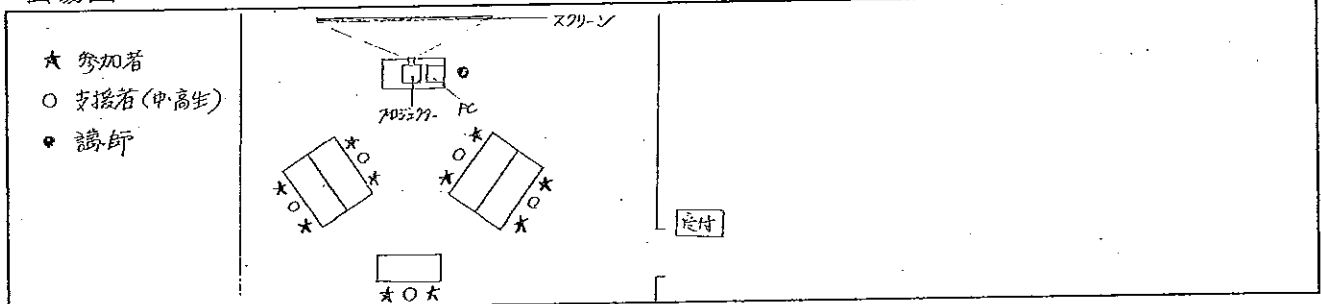
○参加者

スマホ、筆記用具

○主催者

資料、パワーポイント、PC、プロジェクター、茶菓子

5 会場図



6 実施計画

時刻	内容	留意点
9:30	＊受付(公民館会議室入口) ・アメくじ(アメの色で席分け)	・長机(1) 受付名簿 ・案内板、アメ(5種類)・くじ箱
10:00	＊オリエンテーション ・講座のねらいと日程・内容の説明をする。 ・アイスブレーキングを行い、和やかな雰囲気を作る。 ・自己紹介を行う。(講師、支援者参加者)	
10:15	＊講義「スマホって便利」 ・講師よりスマホの基礎知識を学ぶ。	
10:30	休憩(水分補給、トイレ)	
10:35	＊奥技 ・電話帳の登録の仕方 ・電話の使い方 ・メールのやりとり	・講師より、個人情報の取り扱いについて十分気をつけることを説明してもらう。
11:30	休憩(水分補給、トイレ)	
11:35	＊質疑応答	
11:45	＊ふりかえり ・次回の出席確認をメールで。	